

16

不自然な独り言

「僕」は、自転車で家へ帰る途中、交差点の近くで、白いつえの男の人が歩いているのを見かけます。「目が不自由なんだ。」と思った「僕」は、「目の不自由な人が横断歩道を渡るとき、信号の色は車の流れで判断するしかないんだって。」と母が話していたことを思い出します。

交差点で、その男性の少し後ろに自転車を止めた「僕」は、信号が赤であることを男性に伝えたいと思いますが……。

しろいつえの
おとこ ひと
男の人



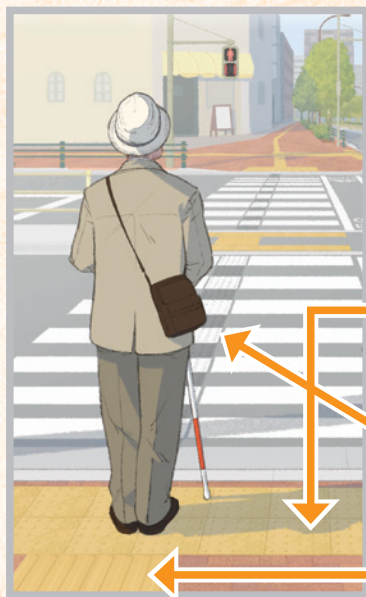
ぼく 僕





視覚障がい者と横断歩道

視覚障がいのある人が安全に渡れるよう、横断歩道にはさまざまな設備があります。

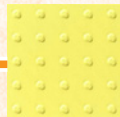


●点字ブロック：ブロックの突起を足裏や白いついで確認して進むためのもの。横断歩道に限らず設置されている。



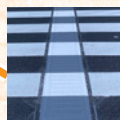
【誘導ブロック】（線状ブロック）

進行方向を示すブロック。線状の突起の方向を確認して進む。歩行方向を変更する必要がある場所などに設置されている。



【警告ブロック】（点状ブロック）

注意すべき位置を示すブロック。横断歩道前、駅のホームの端、階段前、障害物の前などに設置されている。



【エスコートゾーン】

横断歩道の中央部にある点字ブロック。視覚障がいのある人が横断歩道から外れることなく渡れるように設置されている。

●音響式信号機：歩行者用信号機が青になったことを知らせるため、誘導音を出す信号機。「とおりゃんせ」などの音楽が流れるメロディ式と「カッコウ」などの音が流れる擬音式のものがある。



【音響用押ボタン】

ボタンを押すと誘導音が出る。手で触れると音が出るタッチ式のものもある。